

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年02月26日

計画の名称	18 京奈和自動車道のICアクセス向上によるネットワーク形成及び関西広域連携機能強化												
計画の期間	平成31年度 ~ 令和05年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	和歌山県												
計画の目標	関西大環状道路の一部を形成する京奈和自動車道の整備に合わせ、高速道路ICにアクセスする府県間道路等を整備することで広域ネットワークの形成を図り、物流の効率化による都市・地域の立地競争力の強化を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	900	A	900	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30末)	中間目標値 (H33末)	最終目標値 (H35末)
1	ICアクセスに係る時間の短縮を図り、ネットワークの機能を向上させる ICへのアクセス時間短縮率 〔ICへのアクセス時間短縮率(%)〕 = { [要素事業の現道での所要時間(分)] - [要素事業供用による所要時間(分)] } / [要素事業の現道での所要時間(分)]	0%	17%	17%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	和歌山県	直接	和歌山県	国道	改築	(国)371号 仮称新 紀見トンネル(18-A-3)	バイパス整備 L=1.0km	橋本市						900	-	
											小計						900		
											合計						900		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 18 京奈和自動車道のICアクセス向上によるネットワーク形成及び関西広域連携機能強化

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 計画の目標が「活力創出基盤整備」「街路事業」として適切なものとなっている。	○
I. 目標の妥当性 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業内容は、計画の目標を達成する上適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 1) 基幹事業	○
II. 計画の効果・効率性 2) 効果促進事業	
II. 計画の効果・効率性 目標と指数・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指数・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指数・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ハードとソフトの連携等を図る計画である	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	○
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものになっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の附帯性など、事業の熟度が十分である。	○

